

もっと知りたい ふるさと

72

72 埴生の地名「小字」について

飛鳥時代大化2年(646)

全国が畿内7道に区分され、東山道に科野国が成立。郡制により伊奈・諏訪・筑摩・安曇・更級・埴科・水内・高井・小県・佐久が置かれ、その下に50戸で編成された郷を設置し、埴科7郷の一つに舟山郷が生まれた。

埴科郡は、10郡の中で最も面積の狭い土地ながら人口密度が高く、西暦200年頃より農耕・漁労に従事し生活は豊かであった。

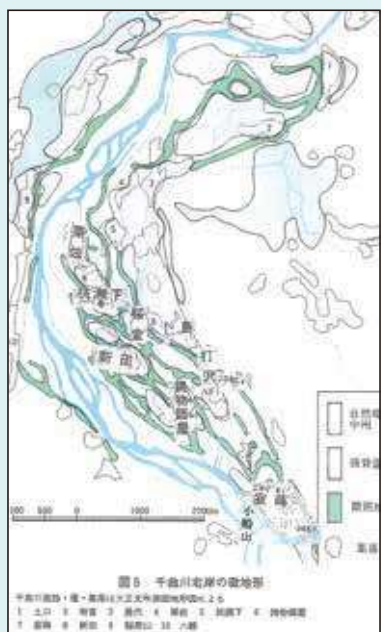
舟山郷は、北に粟狭神社が鎮座し、千曲川の河礫地帯で度々の洪水によって沃土が堆積、住民に恩恵をもたらした。主な小字名はこの土地を舞台に生きた人々の心と姿、生きる智慧、郷土を愛する人達の

象徴になる種々のメッセーを地名に残してくれた。

埴生地籍の小字名を一部列挙する。

〔寂時地区〕中島・大土腐・高河原・清水・小土腐・越上り・土腐尻
〔埴物師屋・新田地区〕舟山・柳原・向柳原・前久保・土手内・堰尻・中村浦・堰口・堀畑・清水・中島・側溝・土井田・柳原下・東上川原・西上川原・小滝・土手外・下土合・上土合・上向川原・大割・下向川原・尾米・東林坊
〔桜堂地区〕尾米
〔杭瀬下地区〕見崎・屋敷・古屋敷・尾米・高河原・村浦・北村浦・車屋浦・升ノ浦・堂河原

埴生地籍に比べ屋代田圃は用水の確保に大変な苦勞をし



埴生地籍の地図
〔『更埴市史』第一巻より〕

てきたが、前述した小字は用水の心配は全く無く稲作や畑作りに勤しむことができた。また屋敷は住居として最適であったことを示している。中島は満水時でも水没することなく、清水は飲料水として用いられた場所として、また川原、河原は流水があったことを示し、東林房は水防施設として築造されていた。

しかし、前述した沃土は住民に苦難も与えている。記録をたどると仁和4年(888)佐久より北へ六郡の人家が流出したとある。また天文12年(1543)から明治の初期にかけ、300年間の洪水の記録を見るとおよそ2年半に1回の割合で襲っている。寛保4年(1742)「戌の満水」については多くの人々に語られている。為政者が水防対策に取り組んだ最たる施設が松代藩の佐久間氏によってできた「不崩の土堤」、坂城の「常山堤」、寂時上町集会所横の「寂時水除土堤」として残っている。



寂時水除土堤

台風はほとんど九州を直指して北上するが、「戌の満水」時には東経135度から140度の間を北上している。令和元年の台風19号も10月10日の天気図を見ると同一コース。これまでは100年に1度の災害と想定していたが最近は今全く違っている。

現在の千曲川の右岸の海拔

編集後記

令和になり初めての成人式は台風19号の影響で更埴文化会館が使えず、上山田文化会館での開催となりました。

新成人の皆さん、成人おめでとうございます。私たちは皆さんの夢・未来に向かっていく姿を応援しています。

さて、千曲市がこれほどの台風被害に遭うとは思ってもみませんでした。最近話題の地球温暖化のせいでしょうか？自分たちにできることは…。

は364と表示されている。千曲川の関係で道路が上っているが、戦前の測量図には362.2でその東の新庁舎前交差点は359.4、更に東に向かって船山通り交差点が361.2、中村新道の起点(小島地籍)が361.8となっている。それぞれ千曲川の堤防より低いことがわかる。

今後も台風19号並みの雨量が、近い将来襲来することは充分考えられる。

舟山郷成立後の人々によって千曲川の地形が現在の小字として残っている。

打沢 牧 忠男

参考文献

『更埴市史』第一巻・二巻
『千曲川の今昔』『信濃の歩み』

える必要がありますね。

昨年はラグビーワールドカップで日本中が盛り上がり、「信州ブレイブウォリアーズ」のB2リーグ優勝という快挙で市民が歓喜しました。スポーツはいいものです。私は、スポーツは無理でも健康のために身体を動かす講座や行事に参加していきたいと思っています。

今年は「東京オリンピック」の年。どんな感動が待っているか今から楽しみです。

(八幡 F)